

大学院都市持続再生学コース 東大まちづくり大学院 シラバス

講義名	都市社会論
担当教員名	渡邊隼・祐成保志
単位数(コマ数)	2単位 (16コマ)
講義曜日・時限	金曜日 6・7限
講義目的	<p>本講義では、「まちづくり」という集合的な実践について、主に社会学の観点から整理、分析、考察する。</p> <p>かつて、経済開発一辺倒だった都市政策の問題性を主張し、社会開発（シビル・ミニマムの達成）を要求した住民運動／市民運動は、「まちづくり」という流れに結実した。その後、現代に至るまで「まちづくり」という実践は多様な領域に展開し、「まちづくり」という言葉は社会に定着したが、その一方で、「まちづくり」の意味は多義化し、捉えがたいものになってきている。</p> <p>そこで、本講義では、担当者およびゲストスピーカーによる最新の研究／実践報告を素材にして、「まちづくり」という実践を社会学的な切り口から捉えると、どのような記述や分析、考察が可能になるのかということについて紹介、検討していきたい。その上で、受講者との双方向的なコミュニケーションを図り、相互理解を促進することを目指す。</p>
成績評価方法	<p>期末レポート 02月10日頃 締切り</p> <p>共通テーマ 都市社会論と各自の問題関心の接点</p> <p>分量 4000～6000字程度</p> <p>提出方法 メールで担当教員2名に提出してください</p>

No.	講義日程	講義時限	講義者	講義形式	講義タイトル
1	11月29日	6限	渡邊隼	ハイブリッド	社会学におけるコミュニティ研究①
2	11月29日	7限	渡邊隼	ハイブリッド	社会学におけるコミュニティ研究②
3	12月6日	6限	祐成保志	ハイブリッド	都市居住の社会学①
4	12月6日	7限	祐成保志	ハイブリッド	都市居住の社会学②
5	12月13日	6限	新雅史	ハイブリッド	商店街は必要なのか：場の創出という観点から考える
6	12月13日	7限	新雅史	ハイブリッド	商店街の更新とは何か：那覇マチグワーの実践を事例に
7	12月20日	6限	武田俊輔	ハイブリッド（ゲストはオンライン）	コモンズとしての都市祭礼：伝統消費型都市の「基層」と「上層」①
8	12月20日	7限	武田俊輔	ハイブリッド（ゲストはオンライン）	コモンズとしての都市祭礼：伝統消費型都市の「基層」と「上層」②
9	1月10日	6限	小山弘美	ハイブリッド（ゲストはオンライン）	「住民参加から自治と協働」再考①
10	1月10日	7限	小山弘美	ハイブリッド（ゲストはオンライン）	「住民参加から自治と協働」再考②
11	1月24日	6限	渡邊隼	ハイブリッド	日本社会におけるコミュニティの歴史と現在
12	1月24日	7限	祐成保志	ハイブリッド	都市コモンズの可能性：排他性と共同性の相克をこえて
13	1月31日	6限	渡邊隼・祐成保志	ハイブリッド	講義の振り返り
14	1月31日	7限	渡邊隼・祐成保志	ハイブリッド	受講者報告と討議①
15	2月7日	6限	渡邊隼・祐成保志	ハイブリッド	受講者報告と討議②
16	2月7日	7限	渡邊隼・祐成保志	ハイブリッド	受講者報告と討議③